

令和5年度 第2回 丸塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月31日（月） 9時00分から11時00分まで
- 2 開催場所 丸塚中学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 稲垣 邦圓、鈴木 悦子、名倉 善郎、酒井 里江子、宮下 まゆみ
鈴木 俊哉、田嶋 節子（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 尾上 弘、園山 尚俊
- 5 学校 高柳 慎二（校長）、青島 正和（教頭）、中井 浩行（CS担当教員）
- 6 浜松市教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - （1）職員研修参観の感想
 - （2）校則及び制服の見直し
- 9 会議録作成者 教頭 青島 正和
- 10 会議記録

司会の教頭青島から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

 - 議長の選出について
司会から、尾上副会長が欠席のため、酒井委員が議長をする旨の報告があった。
 - 協議事項
 - （1）職員研修参観の感想
 - ・ 講座それぞれおもしろかった。時間があればもっとじっくり聞いてみたかった。研修は一つでも二つでも役に立つ、身につくものがあれば成果になる。有意義なもので興味深い。（名倉委員）
 - ・ 専門性の高い講座ばかり。小さいときから好きだったものを極めて、生きていこうというのはすごいこと。先生方も子供に対して指導する上で、いろいろな分野の話の聞けることはたいへん貴重な機会になる。続けて行ってほしい。保護者に対してもこうした機会があるとよいと思う。（稲垣委員）
 - ・ 稲津講師の「遊びを学びに考えるを楽しくする」の話を聞いてなるほどと感じた。先生方も退職したら、放課後児童会の支援員をぜひ経験してほしい。大石講師のダンスの実技は、体験するというので、とても大切だと改めて思った。大石講師のネイルでは、楽しみ半分で身につける、楽しみながら学び教えることの

大切さを感じた。柔道整復師の松島講師からは、ケガの予防についての話で、部活動の指導に取り入れるとよいと思った。(悦子委員)

- ・ ピンポイントでの内容や知識は、先生方同士で擦り合わせる事が大切。柔道整復師の体幹の考え方などは、どの先生も知っておいてほしい内容。先生方が教えてもらったことを共有して、子供たちに伝えていってほしい。(宮下委員)
 - ・ 柔道整復師の松島講師から、体幹・姿勢の話があった。授業参観でも姿勢が気になる生徒が多い。先生方とは違う立場の方が、子供たちに直接指導するような機会をつくってほしい。(俊哉委員)
 - ・ 小さい頃から好きだったことを続けていることは素晴らしいこと、目標を持つことの大切さを改めて感じた。研修全体を見て、自分自身を知ることが一番大事。好きなことを見つけていたり、楽しいことを学んだりして、将来につなげていってほしい。(田嶋委員)
 - ・ 言葉を職業にしている方だからこそ、言葉は生きていると感じた。講師の方が、「子供の頃に先生から褒められた言葉が人生のお守りになっている」と言っていた。叱られた言葉でも、その言葉を生かしていけば人生の糧になる。それぞれの講師のためになる話を先生方で共有してほしい。(酒井委員)
- 確かに、教員同士でそれぞれの講座で学んだこと、参考になったことを共有することが大切。そういう場をもちたい。また、来年度も生徒向けの未来授業を行う予定でいる。今の御意見を参考に、講師選定や授業の持ち方を考えていきたい。(青島)

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 校則及び制服の見直し

議長の指示により、担当教諭中井から資料を基に「丸塚中学校 生活のきまり」、丸塚中の校則見直しについての現状について説明があり、3点について委員で協議した。

<校則見直しについて>

- ・ P T Aや保護者は、見直しに関わっているのか？(田嶋委員)
- 現時点では関わっていない。あとで御意見を聞く予定の制服やジャージの見直しについては、当然保護者の意見を聞いていく。ただ、年度末の学校評価のアンケートでは、生活のきまりについて意見を聞く予定でいる。また、そのアンケート内容・項目については、第3回の学校運営協議会の熟議事項とする予定でいる。(青島)
- ・ 生徒会が要望書を作成して、校長先生に提出し、校則を変えていくことはとてもいいこと。生徒会が実際にすでに見直している学校を見学に行ったり、様子を知ったりしていくことはどうか？(俊哉委員)
- 生徒会が2つの学校の事例、見直しへの取組を聞いた上で進めた。その取組

を参考にしている。(中井)

- ・ 過去には、丸塚中でも靴が自由になったことがある。白を基本とするが、スポーツをする上で機能性の高い靴は認められていた。部活動でまた履き替えるようなら、その靴での登校にすればよいという考え方だった。保健体育の先生の指導・指示でそうだったが、先生が異動になったらまた戻ってしまった。先生によって変えてしまうのはよくない。(宮下委員)
- ・ スポーツ店でも、白の靴の方が割高だと思う。(俊哉委員)
 - 生徒が中心となって、校則を見直していくことはたいへんいいことだと思う。今後もこの流れで進めていく予定。(青島)
- ・ その生徒の考えに、先生がアドバイスをしていくことが大切。(宮下委員)
 - 先日の階段利用の見直しについては、全校生徒の前(リモート)で、生徒会長ともう1名が中井さんに質問し、それに答える形で先生の意見を聞く場をつくった。過去の問題、経緯、現状を伝え、それを理解した上で生徒会が中心に全校生徒の意見を聞き、見直し案を考えた。(青島)

<髪型について>

- ・ 髪型資料を見ても、どの髪型についても違和感はない。(酒井委員)
- ・ 男の子の髪型にも違和感はない。(名倉委員)
- ・ 髪型を気にして、時間をかけているのは気になる。女の子の化粧なんかもそうだと思うが、費用と時間をかけるのは程度を考える必要はある。程度がどのくらいかは難しいが、みんながしているからというのはよくない。何が大切か、どちらが大切かは考えてほしい。(稲垣委員)
- ・ 自分が中学生の時に、坊主から自由になった。女子は、男子よりも自由度が高かった気がする。(俊哉委員)
- ・ 女子のロングヘアを縛らないでいることには抵抗がある。登下校はよくても校内ではゴムで縛った方が清潔感があると思う。(田嶋委員)
- ・ 縛らないことで体育の授業に危険が伴うから縛ろう、といった指導はあるのか？(稲垣委員)
 - 柔らかく伝える程度のこととする。縛っている生徒がほとんど。(中井)
- ・ 国籍・人種のことを考えると、難しい。明るい髪の色の子やパーマをかけたような毛の子もいる。(俊哉委員)

<制服・ジャージ等の見直しについて>

- ・ 自分自身も小さい頃からスカートをはくことが苦手だった。ズボンの方が動きやすいし、何でスカートをはかなきゃいけないの？と思う子もいる。自由にして、はきたいものをはく、着たいものを着るのが一番いいと思う。(田嶋委員)
 - L G B T Qを考えると、制服の見直しも必要になってくる。(中井)
- ・ 他の学校でも、スラックス・スカートを選択できるようになってきている。丸塚中も選択できるようになるといいのでは。ジャージは定期的に見直すことも必

要だと思うが、今のジャージは機能としては問題ない。(俊哉委員)

- ・ 市内で男子がセーラー服(スカート)をはく例はあるのか?(稲垣委員)
→ 男子がセーラー服を着る例は聞いていない。要望としてはあるかもしれない。女子が、学生服を着る例は聞いたことがある。人の目を気にして、時間をずらして登校する生徒もいる。(青島)
- ・ 制服を扱っている友人がいるが、浜松は遅れていると思う。男子・女子関係なく、ブレザーでスラックスとスカートの両方の提案が必須だと聞く。ただ、保護者の負担が大きくなることは厳しい。ジャージは、過去に各業者がプレゼンして、地域の人も見て選んだ覚えがある。機能的に必要なことも時代とともにかわってくると思うので、定期的に見直すことは必要だと思う。(宮下委員)
- ・ アトピーの子にも優しい体操服・ジャージという視点は、必ず考えてほしい。(田嶋委員)
→ 学校としては、経済的な負担を考える。丸塚中独自の制服とは違い、制服も自由という時代もくるかもしれない。(高柳校長)
→ 保護者から、「制服を着る機会が少ない」という御意見をもらう。登下校でしか着ない制服が本当に必要か?ということも、考えていかなければならない。(青島)
- ・ 「制服って必要なの?」って、自分の子も聞いてきた。確かに、制服そのものの必要性も考えるべきかもしれない。(宮下委員)

以上の協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

○ 報告

(1) 田嶋コーディネーターより

タガログ語・ポルトガル語・中国語の通訳を探したところ、知り合いを通じて中国語のボランティアが見つかった。交通費も出ない中でのボランティアは、申し訳ない気持ちもあるが、今後も継続して探していきたい。

→ 直接連絡を取り、子供の様子を一度見に来てもらった。夜勤の日もある方なので、なかなか都合が合わないが本当に子供にとってありがたい。(青島)

(2) 学校より

2年生が、6月末に職場体験を行い、委員の方から御紹介いただいた企業や会社でも体験を実施することができた。来年度も学区の体験場所を中心に、御紹介いただけるとありがたい。(青島)

(3) 教育総務課より

学校運営協議会自己評価を実施していただく。この評価は、公表するものであるので、御承知おきいただきたい。本年度の目標が会長から示されたので、それに向けて活動、評価をお願いしたい。また、評価項目に沿って、自ら評価をしていただ

くが、個人の意見だけではなく、協議会としての視点で評価することを意識してほしい。（牧野指導主事）

○ その他報告事項等

教頭青島から、次回運営協議会は令和5年11月30日（木）、第4回運営協議会は令和6年2月20日（火）に開催予定である旨の報告があった。